

セキュリティ設備による1次的な接近制限

セキュリティ設備による1次的な接近搭載

ご来社されるお客様と社内スタッフの出入を完全に分けて、まず1次的なセキュリティを適用しています。

入口には指紋認識出入システムを導入、スタッフは自分のIDを付与され出入りをチェックし出入記録は自動的にセキュリティサーバーに保存されます。社内のエリアを統制区域、保護区域、一般区域で業務空間を分配して人の出入りを物理的に接近ができないようにしています。

つまり、社内の接近権限が認められた人のみ制限区域に出入が可能、その記録も全て記録されているということです。

さらに、ネットでのセキュリティデータも[データ復旧](#)設備を外部ネットワーク（インターネットなど）から物理的に断絶させ、ネットからの接触は根本的に出来ないように設定されております。

[徹底したセキュリティシステムについて](#)

物理的な区間分離・出入統制

外来のお客様と社内スタッフの出入を物理的に分離して、1次的なセキュリティを適用しています。

指紋認識出入システムを導入し、スタッフは自分のIDを付与され出入りをチェックし出入記録は自動的にセキュリティサーバーに保存されます。社内のエリアを統制区域、保護区域、一般区域で業務空間を分配して、物理的に接近ができないような構造を設けています。

指紋認識システムの導入

DATA OKはセキュリティ強化のために社内全区域に世界最高水準の指紋認識出入統制システムを導入しています。出入り統制の中心軸になる指紋認識技術は世界最高水準の精密度を誇る指紋認識エンジン(No.1 in FVC)を採用しています。指紋データ50,000個、イベントログ500,000件まで保存、記録できる優れた性能で最高水準の出入統制システムを構成しています。

ALSOK+監視カメラでの24時間防犯管理

建物外部から内部までセキュリティ管理ができるように、ALSOK警備システムと監視カメラが"復旧設備""受付センター""サーバーールーム"など各部屋をモニタリングしています。ALSOK警備システムと出入統制システムと監視カメラシステムの連係を結び、24時間連続で社内の訪問者、スタッフのあらゆる動きをチェック、記録しています。ビル内の監視設備、別途の監視設備を用意し二重のシステムでその機能を強化しております。

[データに対するアクセス遮断と統制](#)